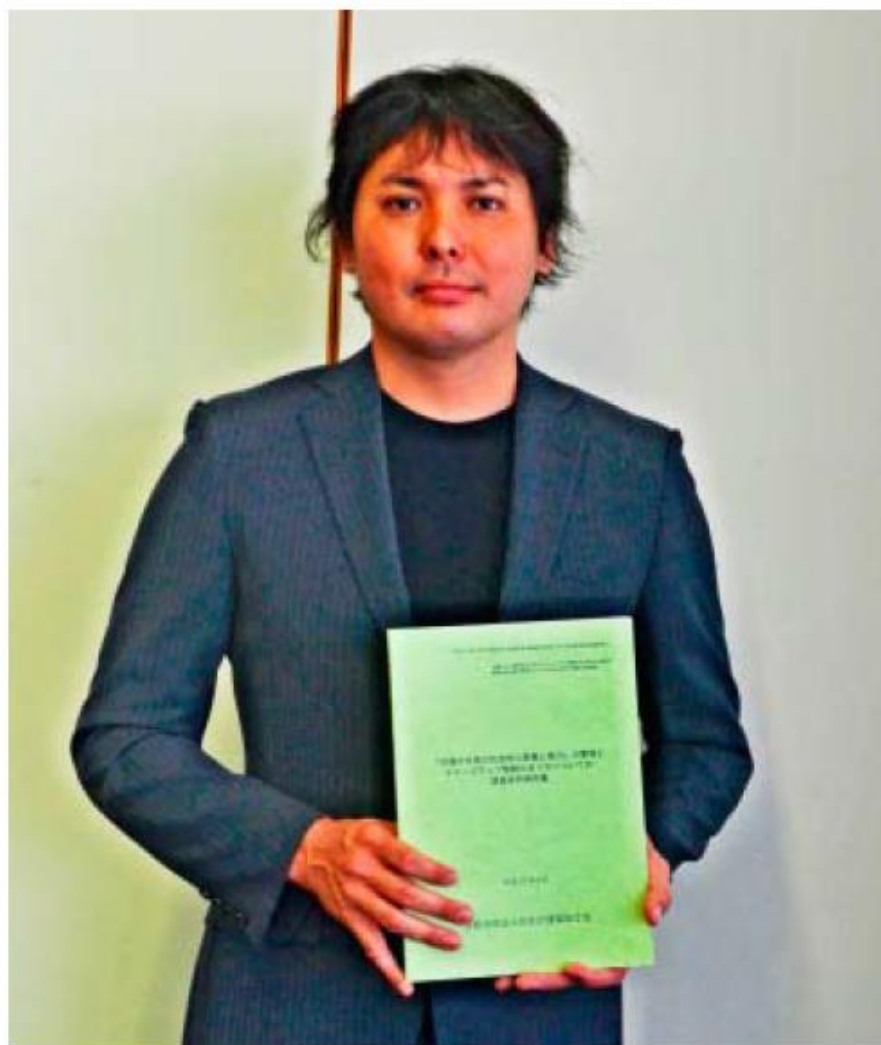


介護職の魅力知って

「介護の日」講演会

13日 那覇市でいるる

講演会への来場を呼び掛ける県介護福祉士会の平良仁志会長。6日、沖縄タイムス社



11月11日の介護の日に合わせ、県介護福祉士会(平良仁志会長)は13日午後2時から、那覇市の県男女共同参画センター「でいるる」で講演会を開く。日本介護福祉士会の石本淳也副会長が「介護福祉士が輝ける未来へ」と題し、昨年行った「介護のイメージアップに関する事業」調査の中身などを解説する。定員300人で参加無料。

県全体で介護の担い手が少ないのが課題。長年働く人は仕事に誇りとやりがいを持つ一方、1年以内に離職する場合にマイナスイメージを抱くという。今回は人材育成につなげようと企画。講演会には高校生150人を招待する。平良会長は「世間が思っている3Kのような暗いイメージではない。県内の介護福祉士は約

1万3千人いるが、実際に働く人は約6千人。介護職の意義や魅力を伝え、若い人が仕事に就けるよう道筋を付けることが大切だ」と話した。

県介護福祉士会は、専門的な技能向上の講習会などを行っていたが、一般向けのイベントを行うのは初めて。問い合わせは同会事務局、電話089(887)3344。